

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)										
ET451013		保健体育科指導法特論(Special Seminar in Introduction Method of Health and Physical Education)					教科実践										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 田端 真弓 E-mail mtabata@oita-u.ac.jp 内線 7630											
授業の概要	学校体育や児童生徒の運動に関する今日的課題を把握し、体育や体育理論の教科内容の深め方について学習し、その改善方法について考えるができるようになることをめざす。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 近代体育の問題点について説明できる。																	
目標2 体育理論領域の現状と課題について述べるができる。																	
目標3 現状と課題を踏まえて体育理論の具体的な授業案を作成することができる。																	
目標4 体育をとりまく課題について挙げ、体育との関連について示すことができる。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 現在の体育科・保健体育科の動向																	
2 体育の概念及び近代体育の問題点																	
3 体育の概念及び近代体育の問題点																	
4 体育の概念及び近代体育の問題点																	
5 体育理論の現状と課題																	
6 体育理論の現状と課題																	
7 体育理論に関する授業案作成																	
8 体育理論に関する授業案作成																	
9 体育理論に関する授業案作成																	
10 ダイバーシティと体育																	
11 ダイバーシティと体育																	
12 ダイバーシティと体育																	
13 オリンピック教育及びスポーツの意義と体育																	
14 オリンピック教育及びスポーツの意義と体育																	
15 授業のまとめ																	
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造					授業案の作成	工夫	その他の	なし								
時間外学習の内容と時間の目安	準備 配布資料等の予習(20h) 学修 授業案作成(10h) 事後 授業後の復習(10h) 学修 最終課題(5h)																
教科書	特に指定しない																
参考書	講義のときに指定する																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業前課題	50%															
	授業案	25%															
	最終課題	25%															
注意事項	課題について把握した上で授業に参加すること。																
備考	なし																
リンク	なし																
	URL																